

## 第2期 県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画 点検・評価

本組合は、事務及び事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「第2期県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画(以下「実行計画」という。)」を策定し地球温暖化対策に取り組んでいます。

実行計画第5章3.に基づき点検を実施し、平成27年度(基準年度)と平成29年度の温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>)の点検・評価を公表します。

### 1. 結果

	H27年度(基準年度)	H29年度	増減量	増減率
CO <sub>2</sub> 排出量	30,323 t-CO <sub>2</sub>	37,494 t-CO <sub>2</sub>	7,171 t-CO <sub>2</sub>	23.6%

温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>)は基準年度と比較し、23.6%増となりました。

### 2. 点検

#### (1) 各施設温室効果ガス排出量

施設名	H27年度(基準年度)	H29年度	増減量	増減率
県央県南クリーンセンター	29,452 t-CO <sub>2</sub>	36,793 t-CO <sub>2</sub>	7,341 t-CO <sub>2</sub>	24.9%
東部リレーセンター	95 t-CO <sub>2</sub>	78 t-CO <sub>2</sub>	-17 t-CO <sub>2</sub>	-17.9%
西部リレーセンター	61 t-CO <sub>2</sub>	50 t-CO <sub>2</sub>	-11 t-CO <sub>2</sub>	-18.0%
余熱利用施設	623 t-CO <sub>2</sub>	504 t-CO <sub>2</sub>	-119 t-CO <sub>2</sub>	-19.1%
用水ポンプ場	90 t-CO <sub>2</sub>	68 t-CO <sub>2</sub>	-22 t-CO <sub>2</sub>	-24.4%
合計	30,323 t-CO <sub>2</sub>	37,494 t-CO <sub>2</sub>	7,171 t-CO <sub>2</sub>	23.6%

※ 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

- 1) 県央県南クリーンセンターについて、基準年度より7,341t-CO<sub>2</sub>増加しました。
- 2) ほかに4施設については、CO<sub>2</sub>排出量は減少しました。

#### (2) 要因別温室効果ガス排出量

項目	単位	H27年度(基準年度)		H29年度		差		増減率	排出割合
		使用量	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	使用量	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	使用量	排出量(t-CO <sub>2</sub> )		
揮発油(ガソリン等)	kℓ	1.81	4.21	1.52	3.53	-0.29	-0.68	-16.2%	0.01%
灯油	kℓ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00%
軽油	kℓ	4.45	11.66	5.75	15.05	1.30	3.39	29.1%	0.04%
A重油	kℓ	0.00	0.00	0.40	1.08	0.40	1.08		0.00%
液化石油ガス(LPG)	t	0.15	0.46	0.14	0.43	-0.01	-0.03	-6.3%	0.00%
液化天然ガス(LNG)	t	3,233	8,737	2,745	7,420	-487	-1,317	-15.1%	19.79%
電力	千kWh	10,563	6,169	10,755	4,969	192	-1,200	-19.5%	13.25%
一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源)	t	5,560	15,401	9,056	25,085	3,496	9,684	62.9%	66.90%
合計			30,323		37,494		7,171	23.6%	

※ 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

### 3. 評価

平成29年度の二酸化炭素排出量は37,494t-CO<sub>2</sub>であり、平成27年度(基準年度)と比較して大幅な増加となりました。特に一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源)での増加が顕著であり、9,684t-CO<sub>2</sub>(約63%)増加しました。

増加の要因として、廃棄物中のプラスチック類の混入割合が増加したことが大きく影響しています。

また、二酸化炭素排出割合は、非エネルギー起源(約67%)、液化天然ガス(約20%)、電力(約13%)の3項目で全体を占める状況にあります。

なお、液化天然ガスについては、炉の安定操業により使用量、二酸化炭素排出量は減少しています。

また、電力についても、二酸化炭素排出量は減少しています。しかしながら、電力の二酸化炭素排出量は減少しましたが、電力の使用量は増加しています。このことについては、電気事業者排出係数の変更に伴うものです。

今後は、電力の使用量等エネルギー使用量の削減に、より一層取り組みます。

今後も、構成市と連携し廃棄物の減量・分別等に取り組む、未来の生活を守るために一人ひとりが更なる省エネルギーを心がけ、実行計画削減目標の達成に取り組みます。